

第10回

友だち以上恋人未満の微妙な関係 —— GRE と留学生

あお くに まさ やす
青谷正妥

京都大学留学生センター



GRE は恋人未満

新入生の女の子を「恋人未満です」と指差したところ、「私は違う!」と真剣に抗議されてしまいました。「赤の他人でも恋人“未満”ですから〜。残念!」となるはずのネタも、彼女の涙目であえなく「斬り!」。やれやれ…。

まあ、それはそれとして…GREは、内容を知っておくべきではあっても大学入試ほど入れ込むような試験ではなく、まさに友だち以上恋人未満的な存在です。推薦状やGPAより比重ははるかに低いですが、あまりにもできないのは、もちろんよろしくありません。

GRE (Graduate Record Examination) は TOEFL と同じく Educational Testing Service (ETS) が作成している標準テストで、アメリカ人も受ける試験です。当然英語は非常に難しいですが、基礎的算数は、日本人にとっては時間の無駄としか思えない易しきです。Analytical writing skill (情報や状況を分析して意見や判断や描写を分析的・論理的に書く力)、verbal skill (言語能力)、quantitative skill (算数の力) を測る General Test と、専門分野での知識や能力を測る Subject Test があります。



General Test を見てみよう

概要は以下のとおりですが、実際に“友達”になるためには、まず <http://www.gre.org/gendir.html#general> を読み、<http://ftp.ets.org/pub/gre/14614.pdf> (paper 版の試験の説明と問題) や <http://www.gre.org/pprepdwnld.html> から download できる GRE POWERPREP という

software を使って、じかにテストに触れてみる必要があります。実際の試験には、Pretest という検証用のセクション (点はつかない) も入っています。セクションの順序はランダムですが、Analytical Writing は必ず最初です。

● Analytical Writing

Issue Task と Argument Task がありますが、英作文力・思考力があれば、歯が立たない問題ではありません。

Issue Task

たとえば GRE の内容説明の小冊子では、“Both the development of technological tools and the uses to which humanity has put them have created modern civilizations in which loneliness is ever increasing.” と “Our declining environment may bring the people of the world together as no politician, philosopher, or war ever could. Environmental problems are global in scope and respect no nation’s boundaries. Therefore, people are faced with the choice of unity and cooperation on the one hand or disunity and a common tragedy on the other.” のうち、一つについて理由や実例をあげながら自分の意見を論じることが求められています。45分です。

Argument Task

Discuss how well reasoned you find this argument. という instruction の意味は、与えられた argument の妥当性や議論の穴を論じよという意味であって、自分の意見を書けという意味ではありません。上記の冊子には、“Six months ago the region of Forestville increased

the speed limit for vehicles traveling on the region's highways by ten miles per hour. Since that change took effect, the number of automobile accidents in that region has increased by 15 percent. But the speed limit in Elmsford, a region neighboring Forestville, remained unchanged, and automobile accidents declined slightly during the same six-month period. Therefore, if the citizens of Forestville want to reduce the number of automobile accidents on the region's highways, they should campaign to reduce Forestville's speed limit to what it was before the increase.” という argument の例がでています。もち時間は 30 分です。

● Verbal Skill

下の例のように、Antonyms (反意語)、Analogies (類似語対)、Sentence Completions (穴埋め) の 3 種類の問題と、Reading Comprehension Questions (長文読解) があります。

反意語

(A) concentrate, (B) contend, (C) imply, (D) pretend, (E) rebel から DIFFUSE の反意語を選べ。

類似語対

COLOR : SPECTRUM の対と両語の関係が同じ対を、(A) tone : scale, (B) sound : waves, (C) verse : poem, (D) dimension : space, (E) cell : organism から選べ。

穴埋め

Early _____ of hearing loss is _____ by the fact that the other senses are able to compensate for moderate amounts of loss, so that people frequently do not know that their hearing is imperfect. の下線部に入るのは、(A) discovery..indicated, (B) development..prevented, (C) detection..complicated, (D) treatment..facilitated, (E) incidence..corrected のどれか。

これらは易しいほうで、反意語は至難、類似語対の問題は基本的に不可能です。

● Quantitative Skill

9.8 とルート 100 はどちらが大きいかなど、悪い冗談としか思えないような問題が次つぎとでできます。中学の数



TOEFL と GRE

問題を見れば一目瞭然ですが、TOEFL は外国語としての英語、GRE は母語としての英語の力を測る試験です。GRE に listening がないことから、これは明らかですね。たとえば作文について ETS は、語彙・文法・スペル・構文の力、いかに英語を書く力そのものを測るのが TOEFL の essay の目的で、GRE はより高次の思考力や論理的な展開の巧みさを見るためのものと明言しています。

アメリカの大学院も、外国人の英語力に関しては TOEFL を重視しているようですので、僕も含め日本人にはあまりにも難しい GRE の英語に時間をかけることは感心しません。Sentence Completions, Reading Comprehension, そして Analytical Writing は TOEFL の勉強である程度対処できますので、Antonyms と Analogies 用に単語を勉強するぐらいでよいと個人的には考えます。ただし、Subject Test にはもっとまじめに取り組む必要があるでしょう。

学、いくら^{ひいき}鼻目に見ても高校 1 年生の数学の域を超えることはありません。過去問や練習問題で英語の数学表現に慣れておくだけで十分です。



Subject Test を見てみよう

現在のところ、Biochemistry, Cell and Molecular Biology, Literature in English, Biology, Mathematics, Chemistry, Physics, Computer Science, Psychology の 8 科目しかありませんので、希望学科によっては Subject Test は受けなくてもよい場合もあります。Mathematics まで多肢選択ですから、日本人にはかなり抵抗があると思います。また、日本とアメリカでは微妙に習うことが違ったりしますので、実際の問題をしてみることは肝要です。試験範囲は Biochemistry, Cell and Molecular Biology なら <http://www.gre.org/subdesc.html#biochem> に、Chemistry なら <http://www.gre.org/subdesc.html#chemistry> にでており、実際のテスト問題は <http://ftp.ets.org/pub/gre/BioChem.pdf> と <http://ftp.ets.org/pub/gre/007625.pdf> から download できます。

「お行きなさい」